

事務事業チェックシート

事務事業No 123 事業名 粗大ごみ収集運搬事業

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
基本方針	2	一般廃棄物の適正処理ができる体制の確保

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H19	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	一般廃棄物課	梶本 陽司(435-1352)
関連課	青岸清掃センター・収集センター北事務所	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	衛生費	
	項	清掃費	
	目	塵芥処理事業費	
	大事業	塵芥処理事業	
事項	粗大ごみ収集運搬事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民に対し粗大ごみの適正処理を行う。	市民が不用となった粗大ごみについて、収集センター北事務所内にある粗大ごみ受付センターに電話で申し込み、収集日を決定した後、市から委託を受けた業者が回収を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		粗大ごみの収集受付件数 36,330件 粗大ごみの収集トン数 1,983トン 動物死体の収集受付数 3,128件 粗大ごみ日曜搬入の受付件数 2,316件	粗大ごみの収集受付件数 34,723件 粗大ごみの収集トン数 1,923トン 動物死体の収集受付数 3,307件 粗大ごみ日曜搬入の受付件数 2,282件	粗大ごみ、動物死体の収集の申し込み受付後、委託業者が回収	粗大ごみ、動物死体の収集の申し込み受付後委託業者が回収	粗大ごみ、動物死体の収集の申し込み受付後委託業者が回収

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	42,345	42,336	45,980	44,562	52,835		52,835		52,835	
	伸び率 (%)	-	-	8.6%		14.9%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	2,983	1,971	1,971	1,722	1,749		1,749		1,749
		非常勤職員	91	0	0	0	0				
		小計	3,074	1,971	1,971	1,722	1,749		1,749		1,749
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源 (税等)	42,345	42,336	45,980	44,562	52,835		52,835		52,835	
所要人数	常勤職員	0.40	0.26	0.26	0.23	0.23		0.23		0.23	
	非常勤職員	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00		0			
主な予算内訳	管理委託料 52,801千円 等										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	受付件数	年度目標値								
		実績値				36,330	34,723			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度					
			年度別達成度							
	年度目標値									
実績値										
年度別達成度										
成果指標	適正処理率					100	100	100	100	100
	年度目標値					100	100			
	実績値					100.0%	100.0%			
	年度別達成度					100.0%	100.0%			
収集量	年度目標値					1,800	1,771	1,740	1,709	1,677
	実績値					1,983	1,923			
	年度別達成度									
	年度別達成度									
単位	トン	全体目標値		全体目標達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現時点では委託業者に対する苦情がほとんどなく、収集時間についても、年末及び引越シーズン等の特定の繁忙期を除くと、遅滞なく行えているため。
「見直し」 「改善」案	粗大ごみの中にはまだまだ使用可能なものも多く含まれている。更なるリサイクル、リユースの啓発に努める必要がある。